

団体指定

こども食堂「もくきち」

助成金額 11,350円



こども食堂「もくきち」の運営

「もくきち」では、毎月の「こども食堂」のほか、町内会などと連携して「七夕まつり」や「ハロウィンパーティー」、「クリスマスパーティー」を開催しています。今後も、こども達の笑顔のため頑張りますので、応援よろしくお願ひします。

認定特定非営利活動法人 北海道バーバリアンズラグビーアンドスポーツクラブ

助成金額 1,300,000円 地域スポーツ環境支援事業

子どもから大人まで、広くスポーツを愛する方々に活動の場などの支援を行うため、グラウンドの無料貸出を行いました。札幌市消防署や北海道警察犬審査会、スポーツ団体等の皆さまにご利用いただきました。無料貸出については、ホームページに「無料貸出」のバナーを掲示しているほか、町内会の会合等でも周知を行いました。

特定非営利活動法人 北の映像ミュージアム

助成金額 1,024,253円 映像資料の展示、公開及びそのための資料収集整理事業

札幌をはじめ北海道では、映画だけでも500本を超える作品のロケ地となっています。しかし、映画やテレビなどの映像に関する貴重な資料は、多くが個人所有のまま死蔵されています。そのような個人が所有する貴重な資料や、ロケ地や監督、俳優にまつわる物語などを整理し、広く市民や観光客に公開する事業を実施しました。

特定非営利活動法人 太陽グループボランティアチーム

助成金額 743,277円 ボランティアを通じた各分野での社会貢献活動

新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、実施した少年野球大会や夏祭り、養護園のスキー遠足でのボランティア活動を通じて、子ども達を始めとした、地域社会とのつながりに貢献しました。

特定非営利活動法人女性サポートAsyl

助成金額 633,148円 行き場を失った経験のある若年女性のための振袖撮影会

家族関係の事情等から、行き場を失ってシェルターを利用した経験のある若年女性を対象に、振袖撮影会を開催しました。当日は、18～25歳の女性9名が参加し、撮影した写真は後日プレゼントしました。生まれ育った環境によって、同世代が当たり前に経験できることを経験できないという格差を改善することを目的として実施できました。

札幌はまなす少年軟式野球協会

助成金額 400,000円 青少年の健全育成及び地域社会との交流を目的とした札幌はまなす少年軟式野球協会主催の野球大会助成

子どもたちの健全育成のため、少年軟式野球大会を主催し、大会参加者による豊平川河川敷での清掃活動も実施しました。子どもたちに野球の楽しさや面白さを知ってもらい、団体競技における助け合い、ルールやマナーの習得のほか、清掃活動などを通して、大人との交流の中で社会のルールを学び、感謝の気持ちを育んでもらうことができました。

札幌まるやま自然学校

助成金額 11,000円



のらっこくらぶ「畑の探検隊☆ときの森でおいもほり」

農薬や肥料を使わない自然栽培で農作物を作っている「ときの森」のさつまいも畑で親子の収穫体験を実施しました。収穫が終わった畑で泥だらけで遊ぶこともでき、畑を身近に感じる良い機会となりました。

NPOボラギャング

助成金額 1,080,000円 こどもと子育て世代の食と遊びと学びの居場所支援事業

コロナ禍により一層支援が必要になった困窮世帯や孤立家庭が増加しており、子どもと保護者の心と生活を支援することを目的に、こども食堂や学習支援、ワークショップを開催しました。こども食堂の一部を朝食の時間帯に実施することで、不登校の児童や生徒も利用しやすい環境となりました。

特定非営利活動法人おやふるはうす

助成金額 750,000円 農業体験・教育福祉事業 おやふるはうす

有機無農薬栽培による農業体験のため、市民農園を開放し、参加者には野菜の育て方等について丁寧に指導を行いました。また、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、夏祭りや収穫祭を開催し、枝豆やトウモロコシ、じゃがいも、トマト等の収穫体験などを行うことができました。

特定非営利活動法人 フードバンクイコロさっぽろ

助成金額 634,919円 みんなの居場所 ポンコタン

小・中学生の「居場所」を作り、サードプレイスを提供することや、ひとり親および困窮世帯の負担軽減を目的とし、月4回、大人や学生ボランティアが子どもと一緒に、学習やカードゲーム、調理などを行いました。専用の公式LINEアカウントから告知を行うほか、近隣の小学校でのチラシ配布などを通して、事業を周知しました。

札幌市少年軟式野球連盟

助成金額 500,000円 第17回TAIYO GROUP旗争奪少年野球大会

野球を通じて、青少年の健全育成を図ることを目的に、第17回TAIYO GROUP旗争奪少年野球大会を開催しました。3日間の日程で、市内10区136チームの代表24チーム(約600名)が参加し、トーナメント方式で試合を行いました。多くの市民や少年野球ファンが応援に訪れ、大会は大変盛り上がりしました。

特定非営利活動法人 CAN

助成金額 301,800円 NPOCAN 世の中を知るシリーズ2022

若者が自らの人生で主体的に考え、幸せな暮らしを送るための基盤となる、幅広い視野を身につけることを目的とし、講演会やグループワーク、読書会を対面・オンラインの双方を活用して実施しました。講演会・グループワークでは、若手社会人の方をゲストに迎え、参加者と活発な議論を交わしました。

団体指定

福住地区町内会連合会

助成金額 230,560円 ゴミステーション環境改善事業

適切なごみ出しに係る住民意識の向上、ゴミステーションの環境改善を図ることを目的に、各ゴミステーションにゴミステーションステッカーを掲示することで、ごみの分別区分や収集日等を住民に周知しました。各町内会が中心となり、住民自らゴミステーションの見回りやステッカーの貼替作業を行っています。

特定非営利活動法人あかはなスマイルキッズ

助成金額 175,227円 フリースペース・学習支援事業

団体が拠点としている戸建物件を開放することにより、地域の子どもたちが放課後等に自由に過ごすことのできる居場所を確保し、家庭・学校のほかの第3の居場所として活用できるようにしました。学習支援事業については認知度が低く、参加者がいなかったため、他団体や町内会での集まりを利用し、今後周知を図っていく予定です。

北海道学生柔道連盟

助成金額 100,000円 令和4年度北海道学生柔道大会

札幌市内の大学をはじめ、北海道各地で活動を行っている国立私立大学の柔道部員が一堂に会し、全国大会への出場権をかけて、柔道の技を競う大学対抗団体試合を行いました。今回の大会では、会場設営から学生が関わることによって、出場校同士の親睦を深め、学生同士の友情を育むことができたと思います。

NPOピーチハウス 女性と子どもの元気の輪

助成金額 182,880円 2022年度 ジェンダーの視点から未然防止アクション

若年層に広がるデートDV(若いカップル間に生じるDV)の未然防止を目的とし、ジェンダーの視点から、暴力構造や人との関係性の構築にアプローチした講座を開催しました。また、母親と子どもを対象にした性教育講座を通して、親子ともに身体に関する正しい知識を身につけてもらい、性の健康、特に性暴力の未然防止を目指しました。

特定非営利活動法人 さっぽろ時計台の会

助成金額 115,000円 札幌市立小学校4年生全児童等への社会科の副教材「札幌市時計台 なぞ! ふしぎ! 探検」冊子配布及び普及啓発事業

平成30年度より、「札幌市時計台(旧札幌農学校演武場)創建140周年記念事業」の一環として、次世代の児童等を対象に、歴史及び文化の継承を願うために実施してきました。令和3年度からは、小学4年生の社会科の授業の副読本として利用されています。今年度は、札幌市立小学校202校(分校含む)に対し、計17,529部を配布しました。

森の時間 SNOW HOKKAIDO 日本風呂敷文化〜包〜

助成金額 30,000円 命を守る防災風呂敷講座・マスクつくり・竹あかり制作デザイン

災害時に役立つ風呂敷の活用方法を学ぶ「防災風呂敷講座」、風呂敷や身近にある素材で作る「マスクつくり」体験、門松を再利用した「竹あかり制作デザイン」体験を開催しました。もしもの時に身近にあるもので命を守る方法を真剣に学んでいただき、活かすことができる市民を増やすことで、災害に負けないひと・まちづくりを目指します。

分野指定：保健、医療、福祉の推進

一般社団法人北海道健康医療フロンティア

助成金額 500,000円 日本総合医学会 第15回北海道大会



令和4年9月18日(日)、かでる2・7で開催しました。演題は「Be ambitious!」、[ロマンとビジョン]他。講師は北海道大学総長 實金清博氏、株式会社ニトリホールディングス代表取締役会長 似鳥昭雄氏、日本笑い学会北海道支部長・医師 伊藤一輔氏です。

特定非営利活動法人 北海道CAPをすすめる会

助成金額 147,883円 心とからだを守るための研修事業

心の問題への対応が求められる中、心とからだを守るために日常生活の中で実践できる具体的方法を学ぶ研修を開催しました。研修では、心とからだは繋がっている、というメッセージを体感しながら、エンパワメントとレジリエンスの概念について学びました。参加者からは、身近な人への対応に生かしたいとの声がありました。

特定非営利活動法人 レッドリボンさっぽろ

助成金額 100,000円 エイズ電話相談事業



「エイズ電話相談事業」は1995年に開設し、毎週火曜日19時～22時までHIV(エイズウイルス)感染に不安を持つ方、HIVに感染している方、感染がわかった方、また周囲の方などからの電話による相談を受け付けております。

劇団HASCAP(ハスカップ)

助成金額 150,000円 劇団 HASCAP 定期公演



私たちは知的障がいを持った青年が通う「チャレンジキャンパスさっぽろ」という福祉施設の劇団です。やまびこ座で「おおい!ともだち!」(上演時間65分)を公演しました。たくさんの方々へ大きな拍手をいただき、これからの活動に大きな自信となりました。

特定非営利活動法人ニルスの会

助成金額 119,700円

「農体験」と「食」を通じた「地域共生社会」の実現 コミュニティ農園「ニルスファーム」の運営を通して、高齢者の健康づくり・生きがいづくり、および隣接する保育園の園児との多世代交流を目的に活動しています。秋には芋掘り体験会や、味噌作り会も行いました。



分野指定：まちづくりの推進

さっぽろレインボープライド実行委員会

助成金額 500,000円



LGBTパレード開催を通じた、性的マイノリティ当事者の抱える諸問題(存在の否定・孤立・社会制度上の不平等)の解消に関する事業 LGBTQの当事者、支援者、様々な社会的マイノリティに属する全ての人々が手を取り合い、札幌の街を進行するプライドパレード。ひとりでも多くの方のご参加を、実行委員一同お待ちしております!

助成金交付実績 団体指定

分野指定